

■全国主要内装材販売店にアンケート調査（その1）

22年度実績減少から横ばいへ やや良いの薄日マークも5つ

23年度予測は減少6、横ばい15に

景況天気図は22年度実績・23年度予測ともに、前回調査時に比べ減少の雨マークから横ばいの曇りマークへとシフトしている。本紙が全国主要内装材販売店50社を対象にしたアンケートした結果による。なお、都内販売店数社には面接形式で回答を得た。（有効回収率は56%）。今回も「力を入れたい商品」アンケートを同時に行った（3面掲載）。

全体の景況

22年度は「減少」が9個、「横ばい」が13個と相変わらず多め。ただし、前回の21年度実績が「横ばい」の2個の他は、「減少」だったのと比べると、ビニル量産が入っているものの「やや良い」が5個は心強い。

都内販売店への取材では、「22年度は単価的にも厳しく後半に期待していたが、東日本大震災でそれも叶わなかった」「22年度は横ばいか少し悪いところ。23年度は7月くらいから住宅建設が上向いてくる」。「22年度はマイナス5%。空いている公団に被災された人を入れるため、4月、5月は襖が売れた」。

「22年度は若干プラス、23年度は震災の影響でトントンか」。「22年度は減収増益、23年度は増収増益を目指す。大震災で相当の減少を覚悟していたが、ここに来て微減くらいになりそうだ」という声も。

23年度は減少が減り、横ばいが15個、やや良いが5個となった。好況は壁紙のビニル量産品。

品種別概要

襖紙 実績・予測とも高級品、中級品が「減少」、普及品は「横ばい」。

壁紙 実績はビニル量産品、機能性壁紙2、化粧シートが「やや良い」。

予測はビニル量産品が「好況」、機能性壁紙2と化粧シートが「やや良い」。

「高意匠、高付加価値の商品PRにブランドメーカーが力を注いで欲しい」といった意見が今回も聞かれた。

窓装飾 実績のロールスクリーンのみ「やや良い」。予測は機能性カーテンとロールスクリーンが「やや良い」。「機能性カーテンは遮熱、抗菌等がよい」。「ドレープカーテンも病院等で使われる」。

「節電、省エネとして人気の窓装飾は是非とも伸ばしたい」との声も。

カーペット 高級品、中級品は実績、予測とも「減少」。普及品は「横ばい」。タイルカーペットは実績、予測とも「やや良い」に。

床材 プラスチック系、木質系ともに実績、予想が「横ばい」。

注意)本書を無断で転載することを禁じます。

品種別景況天気図

品 種		景 況	22年度 実 績	23年度 予 測
襖 紙	高 級 品			
	中 級 品			
	普 及 品			
壁 紙	紙 壁 紙			
	織 物 壁 紙			
	ビニル1000クラス			
	ビニル量産品			
	機能性壁紙1			
	機能性壁紙2			
	プラスチック系壁紙			
	無機質壁紙			
窓 装 飾	化粧シート(タック式)			
	カーテンドレープ			
	レースカーテン			
	機能性カーテン			
	ローマンシェード			
	ロールスクリーン			
	ブリーツスクリーン			
	ブラインド			
カー ペ ット	ベネシャンブラインド			
	パーチカルブラインド			
	高 級 品			
	中 級 品			
床 材	普 及 品			
	タイルカーペット			
床 材	プラスチック系			
	木 質 系			

好況 やや良い 横ばい 減少

※機能性壁紙1は、汚れ防止、表面強化、防かび、抗菌
機能性壁紙2は、消臭、吸放湿、通気性、耐水性、吸音性、光触媒等